



## 2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月8日

上場会社名 株式会社イルグルム 上場取引所 東  
 コード番号 3690 URL https://www.yrglm.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 岩田 進  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 赤澤 洋樹 TEL 03(3289)5051  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年9月期第2四半期の連結業績（2019年10月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	1,235	14.2	71	239.2	70	310.4	45	—
2019年9月期第2四半期	1,081	23.2	21	—	17	—	△46	—

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 44百万円 (—%) 2019年9月期第2四半期 △47百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	7.26	7.25
2019年9月期第2四半期	△7.38	—

(注) 2019年9月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,535	1,137	44.9
2019年9月期	2,064	1,061	51.4

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 1,137百万円 2019年9月期 1,061百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めており、配当方針としては期末配当の年1回を基本的な方針と定めておりますが、現時点では2020年9月期の期末配当予想額は未定であります。配当予想額が決定した時点で速やかに公表する予定です。

### 3. 2020年9月期の連結業績予想（2019年10月1日～2020年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	22.5	200	135.5	190	140.4	130	—	20.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	6,372,415株	2019年9月期	6,372,415株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	59,794株	2019年9月期	81,423株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	6,298,112株	2019年9月期2Q	6,336,334株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社グループが事業を展開している国内のインターネット広告市場につきましては、アドテクノロジーの進化を背景にした運用型広告がインターネット広告市場全体を牽引、2019年のインターネット広告費は前年比119.7%の2兆1,048億円（株式会社電通「2019年日本の広告費」）と6年連続で二桁成長し、総広告費に占める媒体構成比も前年から3.4ポイント増の30.3%となり、広告市場のインターネットシフトのトレンドが続いております。

一方、当社グループのもう一つの対面市場であるEC市場につきましても企業のECビジネス展開が伸長し、2018年国内BtoC EC（消費者向け電子商取引）市場は前年比109.0%の18.0兆円まで拡大しており（経済産業省「平成30年我が国におけるデータ駆動型社会に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」）、国内のEC市場規模拡大は継続しており、伸びしろが大いにある分野であります。

このような良好な事業環境の下、当社グループは、データとテクノロジーによって世界中の企業によるマーケティング活動を支援し、売り手と買い手の幸せをつくる企業を目指して事業展開を行っており、当第2四半期連結累計期間における売上高は1,235,244千円（前年同期比14.2%増）、営業利益は71,413千円（前年同期比239.2%増）、経常利益は70,610千円（前年同期比310.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は45,712千円（前年同期は46,759千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりとなりました。

## ① マーケティングプラットフォーム事業

当事業は、デジタルマーケティング領域において、マーケティング効果測定プラットフォーム「AD EBiS」や分析レポート自動作成サービス「アドレボ」等を提供する事業であります。「AD EBiS」は広告効果測定システムを基盤としたマーケティング統合環境を提供するサブスクリプション型のサービスであり、広告効果測定市場において5年連続シェアNo.1（株式会社アイ・ティ・アール「ITR MarketView：メール/Webマーケティング市場2020」広告効果測定市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2019年度予測））を獲得しております。

当第2四半期連結累計期間においては、昨今のプライバシー保護のニーズにも配慮しながら精度の高い広告効果測定が可能な新しい計測方法「CNAMEトラッキング」のサービス提供を開始いたしました。プライバシーに関わるデータの取扱いの厳格化の観点からブラウザ各社でもCookieを用いたトラッキングを制限する動きが強まっていますが、そのような環境下においても正確な効果測定を実現するもので、今後の企業のマーケティング活動には必須であり、「AD EBiS」利用促進に寄与することを期待しています。

また、2020年1月1日付で株式会社オプトより広告効果測定ツール「ADPLAN」事業を譲り受け、当社事業としてサービスを開始しております。今後は「ADPLAN」のサービスを順次「AD EBiS」に移行していくことで、「AD EBiS」の広告効果測定市場のリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものとし、引き続きデジタルマーケティングの進化を加速させていきます。

この結果、売上高は1,122,780千円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は66,957千円（前年同期比658.1%増）となりました。

## ② 商流プラットフォーム事業

当事業は、EC構築のためのオープンプラットフォーム「EC-CUBE」を提供する事業であります。「EC-CUBE」はフリーミアムモデルのオープンソース・パッケージとして提供しており、EC事業者のインフラ整備や売上向上に貢献する一方、「EC-CUBE」と連携する各種サービス（決済代行等）の提供事業者からマージン収入を得るというエコシステムを構築しております。

当第2四半期連結累計期間においては、一部の提携事業者との契約更新の遅れに伴い、一時的な売上の減少が発生いたしました。

この結果、売上高は112,463千円（前年同期比10.7%減）、セグメント利益は4,455千円（前年同期比63.5%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

## ① 財政状態

## （資産）

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ471,446千円増加し、2,535,790千円となりました。主な要因は、「ADPLAN」事業取得により、のれんが241,116千円増加したことや、現金及び預金が73,200千円増加したこと等によるものであります。

## （負債）

当第2四半期連結会計期間末の負債については、前連結会計年度末と比べ394,597千円増加し、1,397,796千円となりました。主な要因は、長期借入金が417,258千円増加したこと等によるものであります。

## （純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産については、前連結会計年度末と比べ76,849千円増加し、1,137,994千円となりました。これは、主に親会社株主に帰属する四半期純利益45,712千円及び自己株式の処分27,762千円によるものであります。この結果、自己資本比率は44.9%（前連結会計年度末は51.4%）となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ73,200千円増加し846,843千円となりました。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローについては、92,391千円の収入（前年同期は98,850千円の収入）となりました。主な増加要因は減価償却費87,328千円（前年同期は67,289千円）や税金等調整前四半期純利益70,610千円（前年同期は54,288千円の税金等調整前四半期純損失）の計上等によるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローについては、408,917千円の支出（前年同期は367,950千円の支出）になりました。これは主に、自社開発ソフトウェアの計上等の無形固定資産の取得による支出87,238千円（前年同期は138,235千円の支出）及び事業の譲受による支出315,000千円（前年同期は200,000千円の支出）によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローについては、390,610千円の収入（前年同期は162千円の支出）になりました。これは主に、長期借入れによる収入700,000千円（前年同期は該当なし）、長期借入金の返済による支出209,386千円（前年同期は99,926千円の支出）、短期借入金の純減額100,000円（前年同期は200,000円の純増額）によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2020年2月7日に発表いたしました通期連結業績予想の前提となる計画に大きな変動は生じていないことから、当該業績予想の修正はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	773,642	846,843
売掛金	271,133	335,158
前払費用	78,625	118,584
その他	19,084	12,383
貸倒引当金	△540	△1,090
流動資産合計	1,141,945	1,311,879
固定資産		
有形固定資産		
建物	92,663	92,663
減価償却累計額	△68,152	△72,602
建物（純額）	24,511	20,061
工具、器具及び備品	218,706	223,472
減価償却累計額	△164,094	△177,461
工具、器具及び備品（純額）	54,612	46,011
有形固定資産合計	79,123	66,072
無形固定資産		
のれん	109,240	350,356
ソフトウェア	386,540	474,695
ソフトウェア仮勘定	86,716	16,719
その他	7,735	16,089
無形固定資産合計	590,233	857,861
投資その他の資産		
投資有価証券	39,124	40,425
長期前払費用	24,152	39,431
繰延税金資産	93,873	122,333
差入保証金	95,333	97,065
その他	2,184	3,301
貸倒引当金	△1,625	△2,579
投資その他の資産合計	253,041	299,977
固定資産合計	922,398	1,223,910
資産合計	2,064,344	2,535,790

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	7,770	6,792
短期借入金	400,000	300,000
1年内返済予定の長期借入金	199,852	273,208
未払金	134,294	137,005
未払法人税等	22,975	8,386
預り金	33,542	35,169
賞与引当金	18,602	27,444
その他	5,043	10,648
流動負債合計	822,079	798,654
固定負債		
長期借入金	142,001	559,259
賞与引当金	1,718	2,483
資産除去債務	37,400	37,400
固定負債合計	181,119	599,142
負債合計	1,003,199	1,397,796
純資産の部		
株主資本		
資本金	318,065	318,065
資本剰余金	308,043	312,401
利益剰余金	536,879	582,592
自己株式	△100,071	△72,309
株主資本合計	1,062,916	1,140,750
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△1,772	△2,756
その他の包括利益累計額合計	△1,772	△2,756
純資産合計	1,061,144	1,137,994
負債純資産合計	2,064,344	2,535,790

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,081,704	1,235,244
売上原価	333,944	396,344
売上総利益	747,760	838,899
販売費及び一般管理費	726,707	767,486
営業利益	21,052	71,413
営業外収益		
受取利息及び配当金	247	920
投資有価証券評価益	739	1,430
持分法による投資利益	2,264	—
その他	1,161	193
営業外収益合計	4,413	2,544
営業外費用		
支払利息	1,433	2,298
為替差損	757	380
長期前払費用償却	5,671	539
その他	399	129
営業外費用合計	8,261	3,347
経常利益	17,203	70,610
特別損失		
訴訟関連損失	60,000	—
固定資産除却損	11,492	—
特別損失合計	71,492	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54,288	70,610
法人税、住民税及び事業税	5,512	378
法人税等調整額	△13,041	24,519
法人税等合計	△7,529	24,897
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,759	45,712
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△46,759	45,712

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46,759	45,712
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△600	△984
その他の包括利益合計	△600	△984
四半期包括利益	△47,360	44,728
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△47,360	44,728
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△54,288	70,610
減価償却費	67,289	87,328
のれん償却額	7,802	20,904
賞与引当金の増減額(△は減少)	11,984	9,647
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△70	1,503
受取利息及び受取配当金	△247	△506
支払利息	1,433	2,298
固定資産除却損	11,492	—
訴訟関連損失	60,000	—
持分法による投資損益(△は益)	△2,264	129
投資有価証券評価損益(△は益)	△739	△1,430
売上債権の増減額(△は増加)	△28,532	△64,979
前受金の増減額(△は減少)	5,853	5,604
前払費用の増減額(△は増加)	△26,637	△29,708
未払金の増減額(△は減少)	35,162	4,605
その他	△2,057	4,918
小計	86,183	110,927
利息及び配当金の受取額	246	505
利息の支払額	△1,434	△2,470
法人税等の支払額	△715	△16,571
法人税等の還付額	14,570	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	98,850	92,391
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△25,692	△4,782
無形固定資産の取得による支出	△138,235	△87,238
事業譲受による支出	△200,000	△315,000
差入保証金の差入による支出	△4,028	△2,068
その他	6	172
投資活動によるキャッシュ・フロー	△367,950	△408,917
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	200,000	△100,000
長期借入れによる収入	—	700,000
長期借入金の返済による支出	△99,926	△209,386
自己株式の取得による支出	△100,213	—
配当金の支払額	△23	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△162	390,610
現金及び現金同等物に係る換算差額	△612	△883
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△269,875	73,200
現金及び現金同等物の期首残高	1,193,773	773,642
現金及び現金同等物の四半期末残高	923,897	846,843

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分

2020年1月17日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として2020年2月17日を期日とする自己株式の処分(22,700株)を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が4,358千円増加し、自己株式が27,762千円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自2018年10月1日至2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム	商流プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	955,734	125,969	1,081,704	—	1,081,704
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	955,734	125,969	1,081,704	—	1,081,704
セグメント利益	8,832	12,219	21,052	—	21,052

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2018年10月1日付で株式会社EVERRISEよりアドレポ事業を吸収分割の方法により承継いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては117,043千円であります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	マーケティング プラットフォーム	商流プラットフォーム	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,122,780	112,463	1,235,244	—	1,235,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,122,780	112,463	1,235,244	—	1,235,244
セグメント利益	66,957	4,455	71,413	—	71,413

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「マーケティングプラットフォーム事業」セグメントにおいて、2020年1月1日付で株式会社オプトよりADPLAN事業を譲受いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては248,919千円であります。